

第10 介護保険制度

令和5年度に策定した「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」に基づき、誰もがいきいきと暮らし「住み続けたい」と思えるまちをめざして、介護保険事業を推進していく。

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療との連携強化、介護サービスの充実強化、介護予防の推進、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護の推進、高齢期になっても住み続けることのできる住まいの確保の5つの観点から高齢者の生活を支えていく「地域包括ケア」の充実を図っていく。

高齢者の日常生活圏域を、令和7年度から現行の10圏域から、現在の中学校区を基本とした7圏域に見直しを行った。圏域内の地域包括支援センターが、3職種（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員）によるチームアプローチができるよう、地域包括支援センターに対する後方支援策を検討し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるようにする。

介護予防を身近な場所で主体的かつ継続的に行うため、地域住民自らの手による介護予防や居場所づくりの充実を図る。また、一般介護予防事業（しゃんしゃん元気づくり事業、いきいき百歳体操等）や、住民主体による生活支援・通いの場の立ち上げや運営の継続支援を行う。

老年人口の推移

(各年 3.31 現在)

年／区分	総人口	65 歳以上	対人口比
令和元	102,105	35,862	35.12
2	100,745	35,947	35.68
3	99,537	36,102	36.27
4	98,182	36,135	36.80
5	96,777	36,115	37.32
6	95,031	35,815	37.69
7	93,102	35,440	38.07
8	91,487	35,185	38.46

年齢別高齢者の状況

(R8.3.31 現在)

年 齢	男	女	計
65 ～ 69	3,417	3,563	6,980
70 ～ 74	3,746	4,037	7,783
75 ～ 79	3,774	4,467	8,241
80 ～ 84	2,010	2,968	4,978
85 ～ 89	1,330	2,594	3,924
90 ～ 94	686	1,746	2,432
95 ～ 99	134	616	750
100 ～	9	88	97

1. 地域支援事業の状況

(1) 地域包括支援センター

日常生活圏域ごとに 10 か所の地域包括支援センターを設置し、高齢者または家族の方に対する総合相談・支援、虐待の防止や早期発見等の権利擁護に関する相談・支援、介護支援専門員への相談・支援、介護予防サービスに関する介護予防ケアマネジメント等を行っている。

令和 7 年度地域包括支援センター業務実績

(単位：件)

圏 域	1	2		3	4	5	6		7		合計
名 称	なかまち	に い だ	ひ が し	はくちよう	あけぼの	かわさきみ	ほくぶ	やわた	まつやま	ひらた	
① 総合相談支援業務	2,465	2,042	958	2,124	2,024	1,977	1,264	1,296	1,176	966	16,292
② 権利擁護業務	54	149	11	162	101	43	32	26	22	9	609
③ 包括的継続的ケアマネジメント	107	246	131	124	151	185	55	182	156	223	1,560
④ 介護予防ケアマネジメント	507	671	263	542	652	587	228	406	321	186	4,363
合計〔①＋②＋③＋④〕	3,133	3,108	1,363	2,952	2,928	2,792	1,579	1,910	1,675	1,384	22,824

①総合相談支援業務	高齢者を対象とした相談や状況確認。高齢者支援のための地域ネットワーク構築等に関する業務。
②権利擁護業務	高齢者虐待や消費者被害に関する相談や対応。成年後見に関する相談等、各種支援に関する業務。
③包括的継続的ケアマネジメント	各機関、主治医、介護支援専門員と連携し、高齢者に総合的・継続的に関わっていくための体制づくり。
④介護予防ケアマネジメント	高齢者が要介護状態となることを予防するため、「すこやかマスターズ」等、介護予防事業にかかる必要な援助を行う業務。

(2) しゃんしゅん元気づくり事業

65 歳以上の方が、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らすことができるよう、介護予防や閉じこもり防止を行う自治会または学区（地区）社会福祉協議会に対して補助金を助成している。補助条件は、年間 12 回以上（原則月 1 回以上）開催、会場が地区内にあり、原則同一会場で介護予防や健康づくりの内容を取り入れることとしている。

令和元年度からは、過去に地域高齢者支え合い事業（福祉課）を利用した自治会等も、過去利用分と合わせて最大 5 年間利用できることとした。

年度	実施団体数	実施延べ回数	参加延べ人数
5	45 箇所	1,847 回	23,571 人
6	36 箇所	1,321 回	15,881 人
7	28 箇所	1,053 回	11,132 人

(3) 口腔機能向上普及啓発事業

歯科衛生士が、高齢者の口腔機能維持・向上のために、誤嚥性肺炎予防、認知症予防、フレイル予防として専門的な指導や口腔ケアについての普及啓発活動を行った。

年度	開催回数	延べ参加人数
5	24 回	354 人
6	20 回	247 人
7	18 回	291 人

(4) すこやかマスターズ事業

介護予防に取り組む意欲のある高齢者を対象に、一般介護予防事業としてアクティビティ等のサービスを提供し、要支援状態等にならないよう生活機能の維持向上を図ることを目的として実施した。

年度	委託事業所数	登録人数	延参加人数
5	17 か所	204 人	332 人
6	17 か所	207 人	336 人
7	15 か所	161 人	258 人

(5) いきいき百歳体操

いきいき百歳体操をツールとした住民主体の通いの場の立上げ・継続支援を行った。介護予防と体操の説明、体力測定、体操 DVD の無料貸出しを行った。

1 年以上継続実施している団体については、専門職（理学療法士等）を派遣し、運動指導を実施。また、団体代表者の情報交換や、効果的な運動の知識・技術習得を目的に情報交換会を実施した。

【開催箇所】

年度	説明会実施回数	延立上げ数（活動団体数）	備考
5	9 回	116 箇所（86 箇所）	B 型移行分は除く
6	7 回	121 箇所（87 箇所）	B 型移行分は除く
7	6 回	124 箇所（68 箇所）	B 型移行分は除く

【体力測定】

年度	体力測定	延実施人数
5	36 回	343 人
6	28 回	291 人
7	31 回	318 人

* 体力測定項目：握力、開眼片足立ち、
5m最大歩行速度、Time up & Go

【専門職支援】

年度	実施回数	延実施人数
5	22 回	327 人
6	26 回	353 人
7	36 回	492 人

【情報交換会・研修会】（令和5年度から隔年開催）

年度	開催回数	参加団体	参加人数
4	1 回	39 箇所	52 人
5	1 回	31 箇所	42 人
7	1 回	35 箇所	41 人

（6） 家族介護者支援事業

要支援・要介護の認知症高齢者を在宅介護している方の継続的な介護を支援するために、地域包括支援センター等が介護についての情報交換や悩みを共有する場を設けて介護者の精神的負担を軽減することを目的として実施した。また、要介護者を在宅介護している家族を対象に、医療専門職が自宅を訪問し、介護者の健康相談・介護相談を実施した。

【介護家族者交流会】

年度	開催回数	延参加人数
5	33 回	169 人
6	27 回	148 人
7	24 回	124 人

【訪問型介護者支援事業】

年度	訪問件数（実件数）	訪問件数（延件数）
5	165 件	208 件
6	546 件	564 件
7	488 件	495 件

(7) 飛島高齢者介護サービス支援事業

飛島地区においては高齢化率が80%を超え、本市で最も高い地域となっている。このことから、島民が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、飛島高齢者介護サービス支援事業を実施した。

① 飛島高齢者短期入所等運営事業

とびしま総合センターで同居家族が不在となる場合などの短期入所や居宅での入浴が困難な場合などの通所サービスを提供し、飛島での在宅介護を支援した。

年度	実利用人数	実稼働日数	延利用人数
5	22 人	82 日	563 人
6	9 人	61 日	313 人
7	9 人	52 日	334 人

② 飛島介護保険サービス利用者特別対策事業

飛島在住の要介護認定者が、在宅で介護保険サービスを利用する際に、サービス提供事業者に移動費用がかかる場合、その費用を助成することにより、利用負担の地域格差を解消し、安心してサービスを利用することが出来るように取り組んだ。令和7年度は18回の助成を行った。

(8) 認知症サポーター養成講座

認知症の人や家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターの養成を実施した。

年度	回数	人 数	累計人数
5	41 回	759 人	14,784 人
6	37 回	556 人	15,340 人
7	36 回	599 人	15,939 人

(9) 市民認知症講演会

認知症の理解と普及啓発、家族支援等について幅広く市民から理解を深めてもらうことを目的として講演会を開催した。(隔年度開催)

年度	講演内容	人 数
3	認知症になっても住み慣れた酒田で暮らしていくために (講師：医師)	※新型コロナウイルス感染症拡大により中止
4	認知症になっても住み慣れた酒田で暮らしていくために (講師：医師)	110 人
6	あなたの物忘れは大丈夫?～軽度認知障害(MCI)を知ろう～ (講師：公認心理師)	170 人

(10) 認知症カフェ

認知症になっても住み慣れた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続することができ、また、認知症の家族への支援を図るため、認知症当事者とその家族が気軽に参加できる認知症カフェを実施した。

年度	回数	人 数
5	12 回	92 人
6	12 回	91 人
7	12 回	118 人

(11) 徘徊高齢者事前登録「安心おかえり登録」

在宅で生活し徘徊のおそれのある方の情報を登録し、行方不明になった際、早期に発見・保護できるよう支援する。

年度	登録者数(年度末)
5	345 人
6	360 人
7	359 人

(12) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるため、認知症やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築するために実施した。

年度	事業対象者数
5	5 人
6	3 人
7	3 人

(13) 医療・介護連携推進事業

平成 27 年度より酒田地区医師会十全堂へ委託し、在宅医療・介護連携支援室ポンを開設。令和 5 年度からは山形県・酒田市病院機構へ委託。在宅医療・介護サービスの切れ目のない連携体制の構築を推進するため、在宅医療・介護関係者や市民向けの研修を開催、多職種による会議を実施した。

【ポンテ運営会議（多職種会議）】

年度	回数
5	6 回
6	6 回
7	6 回

【研修会 開催状況】

年度	回数	参加者数
5	14 回	744 人
6	11 回	915 人
7	18 回	1,157 人

(14) 地域包括ケア推進事業

日々の活動や地域ケア会議等を通じて、地域包括支援センター、行政機関、民生委員や自治会長等で情報交換を行い、支援の必要な高齢者の見守りを実施した。

【地域ケア会議の開催数】

年度	回数	延参加人数
5	76 回	1,174 人
6	87 回	1,341 人
7	64 回	1,093 人

(15) 自立支援型地域ケア会議

介護支援専門員が作成したケアプランについて、多職種（薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）によるアドバイスを受けることにより、自立支援型のケアマネジメントと併せて自立した生活を支えるための地域課題の把握を行った。

【自立支援型地域ケア会議の開催数】

年度	回数	検討事例数
5	12 回	34 件
6	12 回	32 件
7	12 回	35 件

(16) 権利擁護事業

高齢者及び障がい者に対する虐待の防止と、虐待を受けた高齢者及び障がい者の適切な保護を図るとともに、虐待防止に係る諸機関等の密接な連携と相互協力により、虐待の防止に資することを目的として協議会、及び市民向けの講演会を実施した。

【高齢者及び障がい者虐待防止講演会 開催状況】

年度	講演内容	参加人数
5	ひきこもり・8050講演会	102 人
6	備えあれば憂いなし なっとく！成年後見制度	190 人
7	自筆証書遺言と相続登記 今から始める円満相続準備	135 人

【令和7年度 養護者による高齢者虐待の状況】 ⇒別表

(17) 在宅紙おむつ券事業

在宅で要介護3～5の認定を受けている市民税非課税者の方で、障がい高齢者の日常生活自立度B以上または認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上、常時失禁のため、毎日紙おむつを使用し、認定調査項目「排尿」または「排便」の「介助」または「見守り等」等のすべての要件に該当する方に在宅紙おむつ券を交付した。

【在宅紙おむつ券 交付状況】

年度	交付人数	交付額	使用額	使用率
5	493 人	27,412,000 円	22,204,500 円	81.0%
6	503 人	29,081,500 円	23,324,500 円	80.2%
7	492 人	28,510,000 円	22,311,000 円	78.2%

令和7年度酒田市高齢者虐待の状況

令和7年4月～令和8年3月

◆養護者による高齢者虐待

相談・通報等の新規受付件数	41
虐待と判断した件数	緊急事態 1
	要介入 26
虐待疑い	見守支援 13

※以下虐待と判断したものについて

①当課への相談・通報者

ケアマネジャー	9	23.7%	①～第一発見者 6	22.2%
介護保険事業所職員	7	18.4%	7	25.9%
近隣住民・知人	1	2.6%	1	3.7%
民生委員	0	0.0%	0	0.0%
被虐待者本人	0	0.0%	0	0.0%
家族・親族	0	0.0%	0	0.0%
医療機関	1	2.6%	1	3.7%
※警察	7	18.4%	7	25.9%
その他	1	2.6%	1	3.7%
市町村・包括職員	12	31.6%	4	14.8%
合 計	38	100.0%	27	100.0%

※警察への通報内訳

被虐待者本人	7	100.0%
虐待者本人	0	0.0%
家族・親族	0	0.0%
合 計	7	100.0%

②被虐待者の性別

男 性	7	25.9%
女 性	20	74.1%
合 計	27	100.0%

③被虐待者の年齢

65～69歳	2	7.4%
70～74歳	7	25.9%
75～79歳	5	18.5%
80～84歳	3	11.1%
85～89歳	7	25.9%
90歳以上	3	11.1%
合 計	27	100.0%

④被虐待者の要介護度（通報時点）

未申請（自立相当）	10	37.0%
未申請（認定相当）	0	0.0%
要支援1	0	0.0%
要支援2	1	3.7%
要介護1	5	18.5%
要介護2	3	11.1%
要介護3	3	11.1%
要介護4	3	11.1%
要介護5	2	7.4%
合 計	27	100.0%

⑤被虐待者の認知症高齢者の日常生活自立度（認定者）

自立または認知症なし	6	35.3%
自立度Ⅰ	0	0.0%
自立度Ⅱ	4	23.5%
自立度Ⅲ	5	29.4%
自立度Ⅳ	2	11.8%
自立度Ⅴ	0	0.0%
不明	0	0.0%
合 計	17	100.0%

⑥虐待者の性別

男 性	18	66.7%
女 性	9	33.3%
合 計	27	100.0%

⑦被虐待者と虐待者の続柄

夫	5	18.5%
妻	2	7.4%
息子	11	40.7%
娘	6	22.2%
息子の配偶者	1	3.7%
その他	2	7.4%
不 明	0	0.0%
合 計	27	100.0%

⑧虐待の発生要因

性格や人格・人間関係	5	18.5%
介護負担	9	33.3%
家族・親族との関係	5	18.5%
経済的要因	2	7.4%
その他	6	22.2%
合 計	27	100.0%

⑨虐待の種別（複数該当あり）

身体的虐待	21	63.6%
介護世話の放棄・放任	1	3.0%
心理的虐待	9	27.3%
性的虐待	0	0.0%
経済的虐待	2	6.1%
合 計	33	100.0%

⑩分離の有無

分離あり	14	51.9%
分離なし	13	48.1%
その他	0	0.0%
合 計	27	100.0%

⑪分離の内訳

契約による介護サービス利用	9	64.3%
やむを得ない事由等による措置	0	0.0%
緊急一時保護	0	0.0%
医療機関への一時入院	3	21.4%
その他	2	14.3%
合 計	14	100.0%

⑫分離していない事例の対応（複数該当あり）

養護者に対する助言・指導	9	42.9%
介護保険サービスの新規利用	0	0.0%
介護保険サービスの見直し	3	14.3%
その他	0	0.0%
見守りのみ	9	42.9%
合 計	21	100.0%

2. 介護保険

平成12年4月の介護保険制度創設により、それまでの家族による介護から介護を社会で支える社会保障の制度に転換した。この後、介護保険制度の浸透・定着、高齢化の進行などにより要介護認定者は大幅に増加し、それに伴い介護保険サービスの利用者数やサービス利用量も急速に増大してきている。

令和6年度からは健康で生きがいのある生活、地域包括ケアシステムの推進及び介護保険事業の適正な運営の3つを基本目標とした第9期介護保険事業計画のもとで介護保険事業が行なわれている。

(1) 要介護認定の状況

令和7年4月から令和8年3月までの要介護認定申請件数は5,530件であり、うち認定数は5,300件となっている。

更新認定では、前回より軽度に変更された割合が16.5%となっている。

認定結果				(単位：件)	
	新規申請	更新申請	区分変更	計	割合
非該当	43	15	0	58	1.09%
要支援1	202	210	2	414	7.81%
要支援2	231	350	16	597	11.26%
要介護1	422	546	86	1,054	19.89%
要介護2	233	659	125	1,017	19.19%
要介護3	120	484	202	806	15.21%
要介護4	123	390	236	749	14.13%
要介護5	92	287	226	605	11.42%
計	1,466	2,941	893	5,300	

更新申請における介護度変更状況

	件数	割合
変更なし	1,461	49.68%
重度に変更	994	33.80%
軽度に変更	486	16.52%
計	2,941	

(2) 要介護認定者の推移

令和8年3月31日現在で要介護認定を受けている人は6,928人で、そのうち第1号被保険者(65歳以上)は、6,812人となっている。また、第1号被保険者に占める要介護者数の割合(認定率)は19.25%となっており、微増傾向にある。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定者数	うち1号被保険者	1号被保険者	認定率	(参考)チェックリスト該当者
平成31年3月	534	787	1,357	1,529	1,132	878	743	6,960	6,789	35,808	18.96%	309
令和2年3月	497	815	1,368	1,545	1,151	916	742	7,034	6,889	35,895	19.19%	305
令和3年3月	532	891	1,327	1,485	1,152	1,001	741	7,129	6,987	36,057	19.38%	280
令和4年3月	557	924	1,315	1,469	1,156	983	753	7,157	7,024	36,062	19.48%	239
令和5年3月	539	895	1,242	1,466	1,165	967	731	7,005	6,871	36,039	19.07%	228
令和6年3月	532	896	1,241	1,535	1,177	915	690	6,986	6,867	35,739	19.21%	251
令和7年3月	555	900	1,259	1,505	1,134	931	644	6,928	6,808	35,361	19.25%	279
令和8年3月	566	880	1,330	1,473	1,133	903	643	6,928	6,812	35,112	19.40%	284

※介護保険事業状況報告の完成データの数値による(各年3月末現在)。令和8年3月のみ保険者データの数値。

高齢者の要介護認定者数(1号被保険者)と認定率の推移(平成31年度～令和7年度)



(3)介護サービス利用状況

- 訪問看護・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション・短期入所療養介護・居宅療養管理指導・住宅改修等は、計画値を上回っている。
- 市内の介護療養型医療施設は、令和4年6月1日から介護医療院に移行したが、令和7年1月1日より休止している。

【介護給付】

サービス項目		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
					対計画値(%)	対前年比(%)	
居宅サービス	訪問介護	件数	11,703	11,700	11,405	-	97.5
		回数	257,336	264,184	245,251	94.8	92.8
	訪問入浴介護	件数	711	692	770	-	111.3
		回数	2,909	2,801	3,158	105.5	112.7
	訪問看護	件数	4,721	5,169	5,472	-	105.9
		回数	27,701	30,899	31,758	109.6	102.8
	訪問リハビリテーション	件数	1,686	1,808	1,877	-	103.8
		回数	15,887	17,536	17,771	108.5	101.3
	通所介護	件数	21,228	20,872	20,718	-	99.3
		回数	260,993	254,193	257,324	99.0	101.2
	通所リハビリテーション	件数	6,886	7,049	7,256	-	102.9
		回数	53,983	54,829	57,668	112.4	105.2
	短期入所生活介護	件数	6,025	5,749	5,345	-	93.0
		日数	88,383	84,659	81,167	89.9	95.9
	短期入所療養介護	件数	686	762	700	-	91.9
		日数	6,184	6,967	6,493	109.1	93.2
	福祉用具貸与	件数	25,699	25,880	25,667	102.7	99.2
		日数	745,544	748,150	744,802	-	99.6
	居宅療養管理指導	件数	8,385	9,807	10,666	130.5	108.8
		日数	12,772	13,841	15,488	-	111.9
	特定施設入居者生活介護	件数	458	458	443	94.7	96.7
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件数	686	655	703	101.0	107.3
		日数	19,521	19,076	19,572	-	102.6
	認知症対応型グループホーム	件数	2,664	2,604	2,655	94.6	102.0
	地域密着型通所介護	件数	1,283	1,176	1,124	-	95.6
		回数	12,807	9,643	9,780	75.5	101.4
	認知症対応型通所介護	件数	1,356	1,156	648	-	56.1
		回数	15,352	13,083	7,804	50.4	59.6
	小規模多機能型居宅介護	件数	3,749	3,867	3,644	100.2	94.2
	地域密着型老人福祉施設	件数	1,677	1,656	1,634	97.3	98.7
施設サービス	看護小規模多機能型居宅介護	件数	21	0	0	-	-
	介護老人福祉施設	件数	7,609	7,477	7,368	97.6	98.5
	介護老人保健施設	件数	5,434	5,395	5,457	102.7	101.1
	介護療養型医療施設	件数	0	0	0	-	-
	介護医療院	件数	115	153	41	10.7	26.8
福祉用具購入		件数	375	404	401	107.8	99.3
住宅改修		件数	183	181	181	125.7	100.0
居宅介護支援		件数	39,351	39,204	38,769	102.3	98.9

【介護予防給付】

サービス項目		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
					対計画値(%)	対前年比(%)	
居宅サービス	介護予防訪問介護	件数	0	0	0	—	—
		回数	0	0	0	—	—
	介護予防訪問入浴介護	件数	0	0	0	—	—
		回数	0	0	0	—	—
	介護予防訪問看護	件数	381	492	635	—	129.1
		回数	1,728	2,139	2,876	158.0	134.5
	介護予防訪問リハビリテーション	件数	414	428	458	—	107.0
		回数	4,320	4,465	4,451	95.2	99.7
	介護予防通所介護	件数	0	0	0	—	—
		回数	0	0	0	—	—
	介護予防通所リハビリテーション	件数	1,751	1,819	1,848	112.4	101.6
		回数	9,778	10,246	10,414	—	101.6
	介護予防短期入所生活介護	件数	131	120	124	—	103.3
		日数	748	648	865	104.2	133.5
	介護予防短期入所療養介護	件数	3	8	6	—	75.0
		日数	33	40	25	—	62.5
	介護予防福祉用具貸与	件数	4,725	4,894	5,086	110.4	103.9
		日数	140,262	144,766	150,406	—	103.9
	介護予防居宅療養管理指導	件数	332	299	487	176.4	162.9
		日数	427	394	598	—	151.8
	介護予防特定施設入居者生活介護	件数	23	15	9	75.0	60.0
地域密着型サービス	介護予防認知症対応型グループホーム	件数	2	12	11	—	91.7
	介護予防認知症対応型通所介護	件数	9	13	0	—	—
		回数	35	68	0	—	—
	介護予防小規模多機能型居宅介護	件数	482	459	519	110.9	113.1
介護予防福祉用具購入		件数	85	100	98	102.1	98.0
介護予防住宅改修		件数	89	75	81	168.8	108.0
介護予防支援		件数	6,121	6,395	6,660	112.6	104.1

※利用日が令和7年3月～令和8年2月分の介護報酬請求に基づく数値。

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業

- 市が中心となって地域の実情に応じて、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を行うもの。酒田市では平成29年度から実施。

【従前相当及びA型】

サービス項目		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
					対計画値(%)	対前年比(%)	
訪問型サービス	従前相当	件数	527	510	531	86.8	104.1
		回数	3,897	3,992	3,966	—	99.3
	A型	件数	2,232	2,220	2,259	88.4	101.8
		回数	10,051	10,193	10,467	—	102.7
通所型サービス	従前相当	件数	129	123	111	77.1	90.2
		回数	765	742	686	—	92.5
	A型	件数	7,081	7,128	7,292	88.8	102.3
		回数	34,813	34,387	35,319	—	102.7

【B型(住民主体のサービス)】

サービス項目		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
訪問型サービス	B型	団体	2	3	3
通所型サービス	B型	団体	19	23	25

(5) 地区別高齢者及び高齢化率の状況 (令和8年3月31日現在)

(単位：世帯、人)

圏域	コミュニティ 振興会	世帯数	人口	65歳以上の いる世帯	65歳以上人口			
					男	女	計	高齢化率
1	琢成	2,579	4,802	1,639	938	1,290	2,228	46.4%
	松陵	2,710	5,491	1,581	899	1,268	2,167	39.5%
	西荒瀬	916	2,221	592	410	499	909	40.9%
	計	6,205	12,514	3,812	2,247	3,057	5,304	42.4%
2	浜田	2,632	5,084	1,555	879	1,261	2,140	42.1%
	若浜	3,095	6,558	1,476	823	1,248	2,071	31.6%
	飛島	93	129	71	43	57	100	77.5%
	計	5,820	11,771	3,102	1,745	2,566	4,311	36.6%
	東平田	495	1,260	395	292	344	636	50.5%
	中平田	491	1,256	371	267	312	579	46.1%
	北平田	407	1,090	317	230	273	503	46.1%
	計	1,393	3,606	1,083	789	929	1,718	47.6%
	合計	7,213	15,377	4,185	2,534	3,495	6,029	39.2%
3	松原	4,249	8,884	1,843	1,164	1,477	2,641	29.7%
	亀ヶ崎	3,052	6,444	1,480	850	1,223	2,073	32.2%
	港南	1,330	2,774	728	418	579	997	35.9%
	計	8,631	18,102	4,051	2,432	3,279	5,711	31.5%
4	泉	2,874	6,272	1,310	813	1,071	1,884	30.0%
	富士見	2,861	6,152	1,349	877	1,059	1,936	31.5%
	計	5,735	12,424	2,659	1,690	2,130	3,820	30.7%
5	新堀	645	1,703	489	331	417	748	43.9%
	広野	632	1,627	427	299	377	676	41.5%
	浜中	541	1,387	403	276	322	598	43.1%
	黒森	388	918	292	187	228	415	45.2%
	宮野浦	2,913	6,140	1,541	931	1,259	2,190	35.7%
	十坂	1,651	3,824	822	543	646	1,189	31.1%
	計	6,770	15,599	3,974	2,567	3,249	5,816	37.3%
6	南遊佐	396	991	320	207	285	492	49.6%
	上田	373	1,025	304	215	266	481	46.9%
	本楯	632	1,631	482	338	434	772	47.3%
	計	1,401	3,647	1,106	760	985	1,745	47.8%
	一條	543	1,414	394	284	334	618	43.7%
	観音寺	760	1,979	570	387	476	863	43.6%
	大沢	158	373	138	104	112	216	57.9%
	日向	293	728	256	180	228	408	56.0%
	計	1,754	4,494	1,358	955	1,150	2,105	46.8%
	合計	3,155	8,141	2,464	1,715	2,135	3,850	47.3%
7	南部	209	525	174	134	139	273	52.0%
	松嶺	563	1,232	403	257	317	574	46.6%
	内郷	451	1,062	318	208	288	496	46.7%
	山寺	198	478	165	110	133	243	50.8%
	計	1,421	3,297	1,060	709	877	1,586	48.1%
	田沢	229	555	210	150	166	316	56.9%
	南平田	552	1,431	332	230	271	501	35.0%
	東陽	282	667	234	167	196	363	54.4%
	郡鏡・山谷	311	798	236	168	206	374	46.9%
	砂越・砂越緑町	648	1,657	394	260	332	592	35.7%
	計	2,022	5,108	1,406	975	1,171	2,146	42.0%
	合計	3,443	8,405	2,466	1,684	2,048	3,732	44.4%

※ 特別養護老人ホーム等入所者を除く